令和4年度「政治・経済」シラバス

| 学年 | 学科・コース等 | 教科 | 科目 | 単位数 | 履修形態 |
|-----|--------------------------------------|----|----|-----|------|
| 3 | 普通科文系 | 公民 | 政経 | 2 | 選択 |
| 教科書 | 改訂版 政治・経済(数研出版) 政治・経済資料2022(とうほう) | | | | |
| 副教材 | | | | | |

学習の目的

- 1 現代社会に対する関心を高め、意欲的に課題を追求する態度を養う。
- 2 広い視野に立って多角的・多面的に考察する力を養う。
- 3 社会の変化や様々な考え方を踏まえて公正に判断する力を養う。

| 学習の目標 | | | |
|--------------------------|--|--|--|
| 【 【習得】の段階 知識・技能 | 現代の社会的事象と人間としての在り方生き方とにかかわる基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。 | | |
| C 【活用】の段階 思考・判断・表現 | 現代社会と人間にかかわる事柄から課題を見いだし、社会的事象の本質や人間の存在及で価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化やさまざまな考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。 | | |
| E 【探究】の段階 | 現代社会と人間にかかわる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求すると共に、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。 | | |

| 2; | みつめる力 | 課題発見力/収集したデータから違いを発見する力 |
|---------|-------|--------------------------------|
| た | きわめる力 | 論理的に考えるカ/情報収集力 |
|) } | つなげる力 | 既存のものを組み合わせて作り出すカ/コミュニケーションするカ |

| 評価方法 | | С | Е |
|------------------------|---|---|---|
| ◇ 定期考査 | 0 | 0 | 0 |
| ◇ 教科書準拠ノートの提出 | 0 | 0 | |
| ◇ クラッシーポーリフォリオ配信の課題・解答 | | | 0 |

履修上の注意および学習のアドバイス等

- ◇ 新聞を読む習慣を身に付ける。
- ◇ 授業前に予習として教科書を読み、大事なところに下線をひく。
- ◇内容をまとめた、自分だけのノートを作っていく。

年間指導計画

| 学期 | 月 | 学習内容 | 学習のねらい・目標 | 考査 | 思考を深める問い (C・E) | 関心意欲態度 | 思考判断 | 知識理解 | 技能表現 |
|------|----|--|--|----------|---|--------|------|------|------|
| | 4 | (3)国際社会の組織化 (4)戦後国際政治の展開 第2節 核兵器の廃絶と軍縮問題 (1)核兵器の廃絶と軍縮問題 (2)地域紛争と人種・民族問題 (3)日本の国際的地位の役割 | ●国際社会の成立とその特色、国際法の意義と役割、国際社会の主体の変化などについて、実際の国際的な事象と関連させながら理解させる。 ●集団安全保障としての国際連盟、国際連合の成立とそのしくみと役割と課題について、考察させる。 ●核兵器をめぐる世界の動きを、核拡散の現状、国連における核兵器禁止条約、INF全廃条約などを理解させる。あわせて核軍縮が進まない理由について、多面的・多角的に考察させる。 ●冷戦後の世界の動き、冷戦終結後の日本の安全保障政策、自衛隊と海外派遣などについて考察させる。 | | 〇国際社会はどのような 特色を持つか 国際社会を秩序づける国際法とは何だろうか〇国際連合の機構は国際連盟 とどう違うのか | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 第 | 5 | | | | 〇国連にはどのような課題があるのだろうか 〇 戦後国際政治の流れはどのように変わってきたか | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1学期 | 6 | | | | 〇冷戦後の新秩序はどの ように形成されつつあるか 〇核の脅威に対し国際社 会はどう対処してきたか | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 7 | | | 期末考査 | 〇紛争解決のためにはどのようなことが必要なのだろうか 〇日本の対外関係はどう推移し、今後どうあるべきか | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 第2学期 | 9 | (2) 当所程序の公本 第2節 国際経済の課題と国際協力(1) 地球環境と資源エネルギー (2) 発展途上国の経済と経済協力 第1章2節 日本経済と福祉の向上 (1) 戦後日本経済のあゆみ (2) 労使関係と労働市場 (3) 少子高齢化と社会保障 | ●(1学期の続き) ●貿易の意義、為替相場や国際収支のしくみ、国際協調の必要性や国際経済機関の役割を理解させ、グローバル化が進む国際経済の特質について把握させ、国際経済における日本の役割について考察させる。 ●地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、人種・民族問題と地域紛争、国際社会における日本の立場と役割などについて、政治と経済とを関連させて探究させる。 ●高度経済成長以降の様々な社会的事象の学習を通して、現代社会の成り立ちを概観し、生徒が生きている現代社会の成り立ちを概観し、生徒が生きている現代社会の成り立ちを概観し、生徒が生きている現代社会の特色に気づかせる。 ●少子高齢社会と社会保障の充実、日本経済の発展と課題など、経済上の諸課題に関心を持ち、国や地方公共団体が果たしている経済的な役割について多面的・多角的に考えさせる。 | | 〇外国為替相場の変動の しくみとその影響を理解し よう 〇国 際経済体制はどのように 変遷してきたのだろうか | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 10 | | | 中間考 査 | 〇国際通貨危機はなぜ発 生したか OGATT・IMFはどのよう な機能を持つか | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 11 | | | | 〇発展途上国間の経済格差は、なぜできたのだろうか 〇日本経済の国際化はどのように進んだか | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 12 | | | 学年末考査 | 〇高度経済成長はどのように推移したか 〇21世紀の日本経済にはどのような課題があるだろうか | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 第3学期 | 1 | | | | | | | | |
| | 2 | | | | | | | | |
| | 3 | 手で変更になる場合があります。 | | | | | | | |